



志知・三原高校で閉校式



▲教員らに見送られる卒業生(志知高校)

最後の生徒が卒業



▲声高らかに校歌を合唱(三原高校)

市内2高校の発展的統合に伴い、志知高校と三原高校で閉校記念式典が、卒業式と合わせて行われました。三原高校では2月27日に、志知高校では翌28日に行われ、教員や保護者、大勢の関係者が見守る中、式典が行われました。両校とも、歴史の紹介や、校長の式辞、同窓会長挨拶、校歌斉唱があり、名残を惜しんでいました。両校の伝統や特色は、淡路三原高校へ引き継がれます。



▲地表に現れた漣痕

おうちをあん、おつきく開けて

よい歯の幼児コンクール

幼児の歯の状態を審査する「よい歯の幼児コンクール」予選(淡路歯科保健協会主催)が3月4日、緑保健福祉センターで行われました。このコンクールは、健康な歯を持つ幼児を表彰し、歯科衛生への関心を持ってもらうのが目的。保育所や幼稚園から選抜された71人が参加しました。審査では、歯に虫歯があるかどうかだけでなく、歯並びや咬み合わせ、歯の発育状況など6項目を100点満点で歯科医が評価。得点順に上位8人が選ばれ、6月に行われる歯科保健大会に南あわじ市代表として出場します。「市代表選出者」小林蓮斗(広田)、杉本豊(二宮)、山田圭吾(二宮)、前田珠愛(八木)、小山ひよ(市)、中山零温(北阿万)、登開生(津井)、祖山真泉(湊)※(内は保育所・幼稚園名)



▲歯科医に歯の状態を診てもらう幼児

松原再生へ

吹上浜、慶野松原

松くい虫被害により、全国の海岸で松原が減少しています。白砂青松で有名な慶野松原と吹上浜でもその被害が深刻です。松くい虫被害を防ぎ、松原を再生しようと、両地区で、学習会が行われました。2月23日、国立淡路青少年



▲松を植樹する阿万小学校児童(吹上浜教育キャンプ場)



▲樹幹注入剤を入れる方法を学習(慶野松原)

交流の家と吹上浜教育キャンプ場で、地元・阿万小学校児童51人が、(財)日本緑化センター寄贈の松苗500本を植樹しました。この松苗は松くい虫に強い品種で、児童は樹木医・宗實久義さんから植え方を教わった後、愛情を込めて植えていました。3月8日には、慶野松原で松林の保全や管理についての講演会と、現場での実技体験が行われました。当日、地元関係者50人が参加。実技体験では、樹幹注入剤による防除方法や、適切な間伐の方法などが紹介され、熱心に学習していました。



▲カラフルな色の花をつける五色ツバキ

久米さん宅の五色ツバキ

不思議?一本の木から咲く花が色違い

春の訪れを感じさせる木々の数々。久米正恵さん宅(賀集生子)では、五色ツバキが咲き誇り、訪れた人に幸せを運んでいます。樹齢70〜80年のこのツバキは、白やピンクの色違いの花が一本の木から開花。花の一輪一輪で「異なる組み合わせの色や模様」を表現し、接木なしでは珍しいとされています。久米さんは、「毎年この時期が楽しみ。多くの人に見てもらいたい」と話しています。

母校へグランドピアノを寄贈

細川数夫さん

「母校の子どもたちが喜んでもらえるものを」と、細川数夫さん(芦屋市)が八木小学校にグランドピアノを寄贈されました。細川さんは昭和27年度に同校を卒業され、現在、神戸市にあるアパレルメーカーの代表をされています。2月26日、6年生児童や細川さんの同級生が集まるなか、市長から感謝状の贈呈があり、児童からは「うれしくて音楽の時間が楽しみです」とお礼の言葉が述べられ、このピアノの伴奏で校歌などを合唱しました。



▲寄贈のピアノを囲んで、細川さん(左)と喜びの児童たち



▲坂邊尚弥さん

坂邊さんは1月13日、中田市長へ表敬訪問に訪れ、市長から「市のきらめく星として活躍することを願っています」と激励を受け、「関取になるまで、とにかく頑張りたい」と話していました。2人は、3月に新弟子検査を通り、大阪場所所序ノ口の取組の前に行われる「前相撲」をとりました。翌五月場所からは序ノ口力士として番付表に四股名が載り、力士としてスタートします。ぜひ応援してください。



▲森本竜司さん

生の時から南あわじ相撲道場(砂田泉洋代表)写真提供)にも通い、力をつけてきました。入門した森本さんは、「頑張つて、親に家を建ててあげたい」と話していました。

漣痕が発見される

吹上浜で

阿万・吹上浜の海岸に、海底の波跡の化石「漣痕」が発見されました。市内では、福良の休暇村南淡路敷地内で見つかったものに次いで2例目。この漣痕は、和泉層群と呼ばれる約7,000万年前の白亜紀末期の地層から上部の層が崩れ落ち現れたもので、高さ約10m、幅約5mにわたって、海底であったことを思わせる、やわらかい凹凸模様が見られます。

がんばって 大相撲へ入門



▲相撲部屋での稽古風景(坂邊さん右)

南あわじ市から2人の中学生が大相撲へ入門しました。森本竜司さん(福良)は、横綱・白鵬がいる宮城野部屋へ、坂邊尚弥さん(北阿万)は関脇・稀勢の里のいる鳴門部屋へ入門しました。2人はともに小学生時代にチビッコ相撲大会で活躍。南淡中学校に進み、相撲部で県大会で18年ぶりの団体優勝、近畿大会準優勝に導くなどの好成績を残しました。森本さんは、小学3年